

児童発達支援事業	公表	事業所における自己評価総括表
----------	----	----------------

○事業所名	児童発達支援センターひまわり		
○保護者評価実施期間	2024年10月7日		～ 2024年10月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年10月7日		～ 2024年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長年の療育実績がある	職員研修・学習会	引き続き療育実践を積み重ねる
2	職員体制が手厚い	子どもと関わる際、通常よりも倍近い人配置をしている	各職員のスキルアップ
3	家族支援にも力をいれている	親子教室・懇談会・学習会・相談に乗るなど	兄弟支援の検討
4	分野を超えた多職種との連携を大事にしている	併設している他事業所との連携を行うことで支援の連携に関して検討をしている	今後も連携を実施していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療系専門職が不在	長年の療育実践の積み重ねで児童発達支援を医療・訓練の場ではなく生活の場であることを重視する理念の為	OT・ST・PT・看護師・心理師などの配置検討
2	地域保育園・地域住民との交流が減っている	保育園の理解が難しい 行事に地域住民を招くには事業所が狭い	子ども家庭センターに力を借り地域への理解を広める 交流理解を得やすい関係性の所から実績を作っていく
3			

## &lt;外部評価&gt; 社会福祉法人いずみ会苦情解決第三者委員：山田駒平

※2024年11月13日(水)13:30～15:30 ひまわりにて実施

20年以上の長期にわたる療育支援事業を実施し、その内容を充実させる努力を積み重ねてきたことに心からの敬意を表します。近年では定員いっぱいまで子どもを受け入れ、小学校就学時として送り出してきたことは立派のひとことです。「園だより」で、季節の変化や、日々発達する子どもに目配りし、工夫し、子どもたちの主体性を大切にしていることが、明るく力強く表現されています。あえて注文をつければ、「だより」を読む限りでは、時折ワンパターンな内容を感じられるものもありますが、多くは、個々の子どもたちからの発見などの事実も読み取れます。保護者の相談にのったり、行事の参加など、家族への支援、共同した行動も立派と思います。子どものクラス編成などにも気配り、工夫、試行錯誤の連続でしようが頑張っている様子が読み取れます。

なお医療専門職との連携、保育・療育として共同参加がさらに期待されます。いずみ会をとおして、協力、医療者としての指導助言をいただくことが大切だと思います。これは福祉・医療の双方から学びを得る大事な活動だと思います。



護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	1	0		家庭訪問や個別懇談は全園児に必ず行い、定期的に面談する機会を設けている他、臨時的な相談にも乗っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2	0	0	0	子育ての大変さをいつも共感してくれていて助かる	ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	1	0	6	0	父母：「はい」兄弟：「わからない」2兄弟がいないので兄弟の支援は分かりません。兄弟向けのイベントは多分私は聞いたことがないので、もしあるのなら教えて頂きたいです。保護者同士の交流は出来ていると思います。とても良い機会、時間でした。	家族参加できる行事などはありますが、兄弟向けに特化した支援はないので検討します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	3	1		苦情解決体制について重要事項説明書に明記しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	1	3	1		月1回の園だより配布にて発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	2	0	2	1	1年以上トラブルは起きていない。	個人情報取り扱いに関するルールを再度整備し周知しています。今後も留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	0	0	1		少しずつではありますが、マニュアル作成や訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	0	0	1		2024年度より作成し法人ホームページにて公開しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	2	2	1	まだ我が子が該当する事故等の経験がないので分かりません。	傷病発生時対応マニュアルに記載しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	1	いつも楽しそうにしています。夕方の迎えの際、私の顔を見て笑顔で部屋から出てきてくれて、「今日も楽しかったんだな」と私も安心します。	ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	1	0	1	外遊びができるなど伝えるととても楽しみにし、通園しています。	ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	2	1	いつもありがとうございます。「わからない」と言うのは、まだ入ったばかりなのでわからない事が多いです。すみません。もし可能なら、半年～1年に一度くらいで良いので、また音楽療法に保護者も参加してみたいです。（具体的な内容や我が子の様子を見てみたいです。）職員体制が手厚くきめ細やかな支援を頂いています。他施設と比較にならないレベルでミスが多いけど、良い部分も結構あるので、そちらの方が少し勝る。子どもファーストの気持ちはしっかり伝わっている。	ありがとうございます。音楽療法の保護者参加については他の行事等も含め検討します。子どもファーストの気持ちが伝わっているのは何よりです。

## 児童発達支援事業

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターひまわり			公表日		2024年12月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	空欄	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	4	1	部屋や収納棚の使い方	部屋の広さに対して子どもが多い。部屋数も少ない。部屋によっては園児の人数に対して狭さを感じる部分がある。定員規模に対する子ども一人あたりの居室面積の制度の基準は満たしている。現状の建物敷地を拡充する事は困難だが、活動内容や活動方法、部屋の使い方等を検討し、十分なスペース確保に工夫をしていく。クラス編成の工夫。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	1	午後の職員が入る事によって保育を回している。児童発達支援センターの人員に関する基準は児童指導員・保育士の総数が子どもの数を4で序して得た数(子ども4人に対して職員1人)以上となっている。児童指導員等加配加算、専門的支援加算を算定しながら基準の2倍近くの児童指導員・保育士の配置をしている。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	4	1	各クラス、子どもの状況に応じて物の置き方や部屋の使い方等工夫するなど配慮をしている。	自分で行きたい時にトイレに行けない(鍵) たなに頭をぶつけやすい。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2	1	清掃を担当する職員を配置したことで、細部まで配慮できるようになった。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	3	ホールや相談室などを利用する時も	場所がない		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	1	2	毎月の保育内容会議(常勤職員参加)、クラス会議(常勤・非常勤参加)実施	非常勤の職員に対する参画の仕方は改善が必要だと感じる。クラス内での目標や振り返りなど口頭が多く、どの情報を伝えたか等、難しさを感じる。業務の改善を提案しても検討の場にも上がらない。実践や結果など見える化された物を見る事により改善される傾向にある。「広く参画している」とは言えない。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	1	2017年度より実施			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	1		業務の改善を提案しても検討の場にも上がらない。実践や結果など見える化された物を見る事により改善される傾向にある。「広く参画している」とは言えない。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	0	2	2024年度より苦情解決第三者委員が参画する。			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	1	勤務内で研修や学習会を行い、現場職員体制も保障全職員が参加しやすい研修方法として行事後や勤務に応じて研修2回を設けた。	法人内での研修は少なさを感じる。これだけの職員集団を組織するのだから中堅・幹部職員を対象にマネージメント研修を行う必要があると思う。園の経営資源である人・物・金を効果的に活用するディスカッションが必要。研修受講者からの伝達を丁寧に行うと良いが時間の確保が難しい。業務体制・時間の確保。研修内容の優先度を考慮。非常勤職員の研修・学習が不十分。		
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	2	2024年度より作成、公表			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	0	2	半年に1度個別支援計画作成時にアセスメントも作成している。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	2	クラス毎に会議実施			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	1	クラス会議で共有			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	1	1	「言語社会」「姿勢運動」「認知適応」「生活習慣」「家庭状況」の項目を設定した園作成の様式を使用している。			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0	2	5領域の支援を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	1	2	クラス会議で検討	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	2	クラス会議で検討	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	3	2		出勤時間等が様々で中々情報共有する時間がない。話をメインにしてしまうと、子どもから目が離れてしまう。体制によってはできない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	4	3	クラス会議内では振り返っている。常勤同士でも出来ている	体制によってはできない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	1	1	「言語社会」「姿勢運動」「認知適応」「生活習慣」と項目に分けて記録し、総合的な視点で記録を残せるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	1	一年を上半期・下半期に分け、半年に1回は必ずクラス会議でモニタリングを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	3	児童発達支援管理責任者、クラス担任、必要に応じて園長が参画	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	0	2	園内で完結できない問題等、各機関に相談したり、保護者支援も含め情報交換している。	リハビリとのカンファがなく、連携が取りづらくなっている
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	3		子どもの状況に応じて保護者に声をかけてしめたりしているが、保護者の動きに任せつつ日頃の保育の様子から提案をしている事もある
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	2	引継ぎの資料を作成し、引継ぎ会議に参画	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	0	4	自立支援協議会児童部会や児童連絡会の代表となり、地域課題の検討や事業所同士の交流連携に取り組んでいる。	現場職員にも協議会についてもっと情報共有できると良い
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10	0	4	職員体制が許す範囲で研修参加している。	外部専門家の支援をもっと受けても良い
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	0	4	主に園長、児発管が参画しているが、内容に応じて現場職員が参加するものもある。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	—	—	—		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	9	3		交流保育などもなく、機会ほとんどない。地域小学校との交流が年1回のみ。市内保育所の協力理解が得られない。私立保育園での交流も模索する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	1	連絡帳や登園降園時に様子を伝えるようにしている。個別懇談を実施。定期懇談以外に希望や必要に応じて懇談をおこなっている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	1	2	毎週水曜日のかみふうせん(親子保育)や懇談会・学習会などの実施が、親子での向き合い方や保護者同士の学び合いの場となるようにしている。園での様子家での様子を共有したり、困り感を考え合う工夫をしている。センターとしての学習会実施		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0	3	入園契約時に全園児に行っており、時間が長くなるため、ポイントを絞って説明している。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0	2	個別懇談時に話し合われた内容を計画に反映させている。	説明する時間がないが、アセスメントの際に目標や支援内容について話すようにしている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	1	2		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	1	家庭訪問や個別懇談は全園児に必ず行い、定期的に面談する機会を設けている。他、臨時的な相談にも乗っている。	
	39	父母会の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	0	1	月1回役員会を実施 保護者会が実施する活動に協力している。	家族参加できる行事はあるが、兄弟に特化した支援はない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	1	苦情解決体制について重要事項説明書に明記し、掲示板でも公開している 連絡帳やバス乗降時、ひまわり送迎時、職員が対応し、それを園長、主任、各クラス担任に伝えている。	保護者は不安や要望を伝えたいだけで、苦情にはしてほしくないというケースがほとんど。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	1	1	園だよりを毎月発行し活動概況や行事予定などをお知らせしている。 行事に関するお便りもその都度配布 個人情報保護の観点からSNSは行っていない	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	1	個人情報取り扱いのルールを作り職員で共有した	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	1	必要に応じて写真や絵カードを活用したり、保護者にはお便りについて追加で説明するなどしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	2	3	月1回自治会長含め近所7件に会報配布	園舎が園児と家族だけでも狭い為、地域住民も呼びかけるには、スペースが不十分。コロナ前に実施していた交流を再開する事を検討する
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	2	傷病発生時対応マニュアル(緊急時)、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを整備している。バス乗車時の安全対策マニュアルも整備。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	1	今年度よりBCP研修・その他訓練を実施	緊急対応の訓練が火災・地震避難訓練に偏り過ぎている。犯罪事件や事故を想定した訓練を重ねていく事で、事故防止、緊急対応、防犯、感染対応のマニュアルがより一層拡充すると思う。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	1	入園時アセスメントで確認している。 各クラスで対応方法などについて書類にまとめている 必要に応じて受診に同行し直接医師に詳細を確認している	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	1	医師の指示で除去な食材はもちろん、食べて可能な食材も、園では安全な給食対応として保護者との確認のもと、除去しているものもある。（加熱マヨネーズの可否など）	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	2	今年度より安全計画に関わる研修・訓練を実施	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	1	法人ホームページにて公開している事をお便りにて周知	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	1	毎日記入のヒヤリハットの様式を用意し、小さなことでも作成し意識向上するようにしている。	どこまでがヒヤリハットでどこからが事故なのか迷う事はある。記入後の検証が不十分。
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	1	法人内で研修会を実施。虐待防止の指針についても職員全体で確認した。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0	2	身体拘束に関する指針をまとめ、法人内研修会で職員全体でも確認した。		